

「Cuenote SMS」、双方向 SMS にて携帯 4 社の共通番号に対応

～共通番号の利用で送信者のなりすましやフィッシング詐欺を抑制～

メッセージングプラットフォーム「Cuenote（キューノート）」を提供するユミルリンク株式会社（代表取締役社長：清水 亘、本社：東京都渋谷区）は、2023年4月25日より、SMS 配信サービス「Cuenote SMS」にて双方向 SMS 機能をご利用いただく際に、携帯 4 社の共通番号（共通ショートコード）に対応します。

「Cuenote SMS」は、国内の携帯 4 社（docomo、au、SoftBank、楽天モバイル）との直接接続（直収）による正規ルートで高速・確実に SMS（ショートメッセージサービス）を配信できる法人向けクラウドサービス（ASP・SaaS）で、メッセージングプラットフォーム「Cuenote」のサービス契約数は 2,000 件を超えています。

これまで、企業と個人が SMS を送受信する場合には、企業側が携帯 4 社の利用者向けにそれぞれ個別の番号を用意する必要がありましたが、携帯 4 社の共通番号に対応することで、1 つの番号で本人認証、重要な通知、業務連絡、プロモーションなどの SMS を送受信できます。

また、共通番号は携帯 4 社が企業単位で発行する番号であり、企業の番号が認識しやすくなることから、送信者のなりすましやフィッシング詐欺を抑制し、企業と個人間における安心・安全なメッセージングサービスの利用にも繋がります。

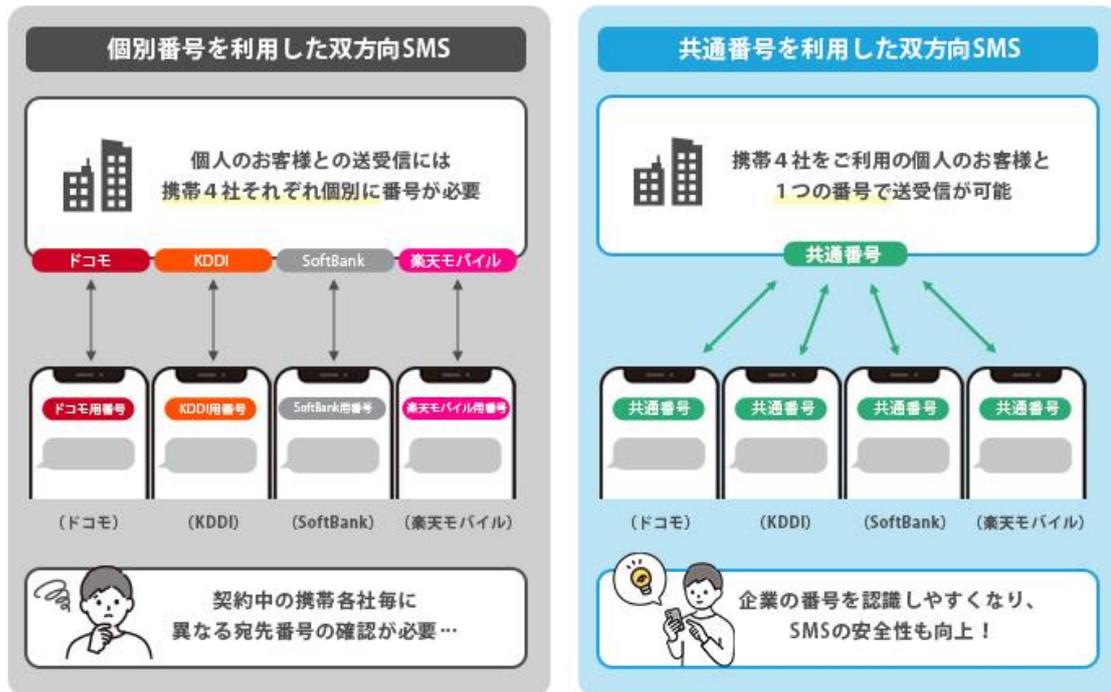


【送信元番号共通化の概要】

- ・本機能は、双方向 SMS 機能をご利用のお客様に適用されます。
- ・SMS を送信するための共通番号は、企業様単位に発行されます。
- ・企業様から携帯 4 社を利用する個人のお客様に SMS を送信すると、送信元番号として共通番号（10 桁以下の数字列）が表示されます。
- ・携帯 4 社では、共通番号の発行前に審査が行われます。

【機能強化に至った背景】

これまで個人のお客様と SMS を送受信する場合には、企業側が携帯 4 社の利用者向けにそれぞれ個別の番号を発行し、携帯会社毎に異なる発信元番号よりメッセージを送信する必要がありました。また、近年 SMS を利用したなりすましやフィッシング詐欺行為が増加しており、企業が SMS 送信時の番号をウェブサイトなどへ掲載し番号を周知するための時間も要しております。



送信元番号が共通化されることにより、個人のお客様が企業の番号を認識しやすくなるため、送信者のなりすましやフィッシング詐欺の抑制、SMSの安全性向上に繋がります。

ユミルリンクでは今後も、企業と顧客のエンゲージメントを向上させるメッセージングプラットフォームとして、クラウドサービス（ASP・SaaS）の拡充に努めてまいります。

■ 「Cuenote SMS」について <https://www.cuenote.jp/sms/>

国内4大キャリア（docomo、au、SoftBank、楽天モバイル）との直接接続（直収）による正規ルートで、高品質なSMS配信を行えるクラウドサービス（ASP・SaaS）です。

国内最大級の配信実績を有するメール配信サービスを20年にわたり提供しているユミルリンクの培った高速・確実な配信性能に加え、サービスの直近1年間（※）の稼働率は100%の実績を有します。

販売代理店に関するお問い合わせは、
<https://www.cuenote.jp/inquiry> までお問合せください。

（※）2022年2月1日～2023年1月31日の実績

<会社概要>

社 名：ユミルリンク株式会社

代表取締役社長：清水 亘

設 立：1999年7月

株 式 情 報：東京証券取引所 グロース市場（証券コード：4372）

本 社：東京都渋谷区代々木 2-2-1 小田急サザンタワー12F

事 業 内 容：メッセージングソリューション事業

詳細については、<https://www.ymir.co.jp> をご覧ください。

- * 「docomo」は、株式会社NTTドコモの登録商標又は商標です。
- * 「au」は、KDDI株式会社の登録商標又は商標です。
- * 「SoftBank」は、日本国及びその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標又は商標です。
- * 「楽天モバイル」は、楽天株式会社の登録商標又は商標です。
- * 「Cuenote」は、ユミルリンクの登録商標です。

以 上